（熊谷市）記者クラブ情報

＜速　報＞
平成24年度当初予算（案）概要
平成24年2月15日発表

事業の名称等
ラグビーワールドカップ招致事業

1. 実施日時等　平成　年　月　日（　）午前　時　分 から
　平成　年　月　日（　）午後　時　分 まで
2. 会場・主催地
3. 主催者・関係者
(1)団体名等
(2)代表者名　ＴＥＬ
4. 事業内容
　２０１９年に日本で開催されるラグビーワールドカップの試合を「熊谷ラグビー場」で開催するため、埼玉県ラグビー協会などと設立した「ラグビーワールドカップ２０１９埼玉県招致委員会」を主体として招致活動を行っている。
　今後は、施設整備等について関係機関と連絡調整を行うとともに、グッズなどを作成し、さらに、啓発を図っていく。
5. 目的・理由
　本市は、熊谷ラグビー場の完成を契機に「ラグビータウン熊谷」として、まちづくりを推進し、市のイメージアップを図ってきた。ラグビーワールドカップの試合を熊谷ラグビー場で開催することにより、更なるイメージアップ、地域活性化を図っていく。
6. 経緯・経過
　２０１９年、第９回ラグビーワールドカップの開催国が日本に決定したことを受け、熊谷ラグビー場での開催を目指し、埼玉県ラグビーフットボール協会、熊谷市をはじめ、関係諸団体で構成する「ラグビーワールドカップ２０１９埼玉県招致委員会」を設立し、当面の行動として署名活動を行ってきた。
　署名は、昨年１２月２５日現在で、８３，５１０人分が集約され、１月１１日に日本ラグビーフットボール協会・森喜朗会長に署名簿を提出し、試合開催に対する意気込みをアピールしたところである。
　本年４月下旬には、試合会場のガイドラインが発表になるとのことである。
7. 影響・効果
　ワールドカップの試合が熊谷ラグビー場で開催されることで、県民、市民が世界トップレベルのチーム同士の対戦を観戦することにより、ラグビーの素晴らしさを実感し、併せてスポーツや健康に対する意識の向上、青少年の健全な育成など、有形無形の影響をもたらせてくれるとともに、経済効果も含めた地域の活性化が期待できる。
　また、ＴＶ中継を通して「スポーツ熱中宣言都市くまがや」を広く世界に発信することができる。
8. この事業の実施による特記事項

(1)県内の状況
㋐. 県内で初めて　イ. 県内で　番目　実施市別紙のとおり
(2)他市が実施している事業に比べて本市の特色
・他市と同じ

※資料の有無　（　無　）

担当課　熊谷市　ラグビーワールドカップ招致室　担当者　新島謙一
連絡先　ＴＥＬ　048-524-1111　内線520

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等
熊谷ブランド物産事業

１．実施日時等　　平成２４年度

２．会場・主催地

３．主催者・関係者

（１）団体名等　熊谷市

（２）代表者名　市長　富岡　　清　　ＴＥＬ　048-524-1111

４．事業内容

・Ｂ級グルメ（雪くま・熊谷ホルどん）や熊谷うどん、熊谷染めのＰＲを図る。

・埼玉Ｂ級ご当地グルメ王決定戦に参加し、熊谷市のＢ級グルメをＰＲする。

・熊農、雪くまのれん会、熊谷市で連携し雪くまのシロップを開発する。

・熊谷市の鳥瞰図をデザインした熊谷染めの手ぬぐいを制作する。2000 円×500 本

・熊谷染型紙デザインの活用（事業者へデザインを貸し出す。）

５．目的・理由

・熊谷市の知名度を向上させるため

・伝統工芸の保存と後継者育成

６．経緯・経過　2 万点以上もある熊谷染型紙デザインを図書館でデータ化したことにより、希望している事業者へ貸し出す事ができるようになったため。

７．影響・効果　熊谷染型紙デザインを使用した製品が販売されることにより、全国に熊谷市をＰＲすることができる。（デザインを使用する条件として、「熊谷染型紙のデザインを使用している」旨の表示をさせる。）

８．この事業の実施による特記事項

（１）県内の状況

ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※　資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　産業振興部商業観光課　　担当者　内田

連絡先　ＴＥＬ　商業観光課　048-524-1111（内線 513）

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等
ウェルカム熊谷観光事業

１．実施日時等　平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分から
平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分まで

２．会場・主催地

３．主催者・関係者

（１）団体名等　熊谷市観光協会

（２）代表者名　会長　富岡　清　ＴＥＬ 事務局５２４－１１１１

４．事業内容

・「るるぶ熊谷」発行（従来の「熊谷ガイドブック」は発行しない。）

・行田市と連携し両市を巡る観光バスを運行

（H24 年秋に映画「のぼうの城」の公開に合わせ、映画鑑賞と成田氏等関係する場所をバスで訪ねる。）

５．目的・理由

・JTB に制作依頼することにより、新たな観光地や物産の発掘につながる。また、情報誌を関東エリアの支店や宿泊施設に配布でき、より広範囲に PR することができる。

・広域連携の第一歩として行田市と連携し、市外の観光客の誘致に努める。

６．経緯・経過　各地にフリーペーパーの情報誌があり、自治体が発行している観光パンフレットにはない情報が掲載されているので、新たな魅力の発見につながる。

７．影響・効果　熊谷の知名度の向上と、新たな魅力の発見。

８．この事業の実施による特記事項

（

ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※　資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部商業観光課　　担当者　内田

連絡先　ＴＥＬ　５２４－１１１１（内 513）

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等
グリーンツーリズム研究事業

１．実施日時等　平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分から
平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分まで

２．会場・主催地　熊谷市内各地

３．主催者・関係者

（１）団体名等　熊谷市

（２）代表者名　市長　富岡　清　ＴＥＬ 524-1111（内線 313）

４．事業内容　熊谷市の豊かな自然、農村風景、特徴ある農作物を活用し、農作物収穫体験や調理体験を行うとともに、観光を組み合わせ日帰りツアーを実施し、市内外の人にＰＲする。そのために自然や農業を活用した観光振興を行うにあたっての誘客の方策、農村地域や、旅行関連事業者との協力関係の構築などの課題を明確にするため、引き続き研究事業を行う。H24 はブルーベリー、さつまいも、栗、ヤマトイモとねぎを予定。

５．目的・理由　身近な資源を活用することにより、本市の魅力的な特色を再発見してもらうとともに、農作物の収穫体験等による地域の人々とのふれあいを通し、季節ごとの熊谷の魅力を発信し、誘客につなげる。

６．経緯・経過　本市の観光事業は、うちわ祭、花火大会などのイベント中心の傾向があるため、今後は常時誘客を図るための、観光施設、自然、農業などを組み合わせた事業を行う。平成 23 年度は、江南地区でブルーベリー収穫とジャムづくり、栗拾いと調理を行い、妻沼地区ではヤマトイモとネギ掘りと吟子鍋づくりを２回実施し好評であった。

７．影響・効果
農業の現場や地域に、観光客を導くことで農作物の地産地消が進み、地域の活性化が図れる。

８．この事業の実施による特記事項

（

ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※　資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部商業観光課　　担当者　上山

連絡先　ＴＥＬ　５２４－１１１１（内 313）

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等
熊谷Ｂ級グルメ大会実施事業

１．実施日時等　平成２４　年　５月２７日（ 日 ）午前・午後　時　分から
平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分まで

２．会場・主催地　調整中

３．主催者・関係者

（１）団体名等　熊谷Ｂ級グルメ大会実行委員会

（２）代表者名　　ＴＥＬ

４．事業内容　・熊谷市のグルメと物産の紹介とＰＲ
・市内グルメと物産の出展（投票なし）
・飲食店の新作発表の場とし、来場者の投票により「熊谷・オブ・ザ・イヤー」を決定する。（投票により１位のみ決定）

５．目的・理由　市民の間でＢ級グルメへの関心が高まるなか、各地からグルメを集め集客を図るとともに、熊谷市内グルメや物産、観光の PR を行い、市内への来訪者の増加を図る。また、隠れた市内グルメの発掘を進める。

６．経緯・経過
昨年好評だったＢ級グルメ大会を充実・バージョンアップして実施する。

７．影響・効果　この開催により、本市の新たなグルメのみならず物産、観光の情報発信ができ、来訪者の増加が見込まれる。

８．この事業の実施による特記事項

（１）県内の状況
ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※　資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部商業観光課　　担当者　内田

連絡先　ＴＥＬ　５２４－１１１１（内 513）

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等
熊谷駅観光案内事業

１．実施日時等　　平成２４年４月１日（日）～平成２５年３月３１日（日）
（平成２４年１２月２９日～平成２５年１月３日は除く）

２．会場・主催地　熊谷駅観光案内所（熊谷駅連絡所内）

３．主催者・関係者

（１）団体名等　熊谷市

（２）代表者名　市長　富岡　　清　　ＴＥＬ　048-524-1111

４．事業内容

・熊谷駅を利用する観光客等に観光案内や市内案内等の情報提供を行う。

・平日は熊谷駅連絡所の嘱託職員、土日祝日は、今までの観光案内所の案内員が嘱託職員となり案内する。

・観光案内所の開所時間が午前７時から午後８時となり、より利用しやすくなる。
（土日祝日は午前９時から午後５時までの開所）

５．目的・理由

・熊谷市を訪れる観光客等の利便性を図る。

６．経緯・経過

平成２１年７月から実施している（平成２３年度までは、埼玉県の緊急雇用対策事業の補助金を活用）。

７．影響・効果

・熊谷市を訪れる観光客等の利便性を図れる。

８．この事業の実施による特記事項

（１）県内の状況

ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※　資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　産業振興部商業観光課　　担当者　内田

連絡先　ＴＥＬ　商業観光課　048-524-1111（内線 513）

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等
坂田医院旧診療所等整備事業

１．実施日時等　　平成　　年　　月　　日（　　）午前・午後　　時　　分から
　　平成　　年　　月　　日（　　）午前・午後　　時　　分まで

２．会場・主催地　坂田医院旧診療所・井田記念館

３．主催者・関係者

（１）団体名等

（２）代表者名　　ＴＥＬ

４．事業内容

妻沼聖天山を中心に周辺の観光スポットを周遊するためのエントランスゾーンとして、国登録有形文化財の坂田医院旧診療所及び井田記念館の施設改修を行うとともに、立看板張替えや連絡道設置工事等を実施する。

５．目的・理由

妻沼聖天山「本殿」の一般公開を契機に、本市へ訪れる観光客への情報発信や利便性を図るとともに、当該建造物の保存並びに活用を図る。

６．経緯・経過

坂田医院旧診療所及び井田記念館の施設改修については、これまでに市民団体などからも要望があり、庁内の関係課による「庁内検討会議」を設置し、活用方策を検討してきた。

７．影響・効果

観光振興とともに地域の活性化につながる。

８．この事業の実施による特記事項

（１）県内の状況

ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※　資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　妻沼行政センター産業建設課　　担当者　高際康司／吉田和彦

連絡先　ＴＥＬ　048-588-1321(内線 316)

（熊谷市）記者クラブ情報

＜速　報＞
平成24年度当初予算（案）概要
平成24年2月15日発表

事業の名称等　**森村誠一「写真俳句」チャレンジ事業**

1. 実施日時等　平成２４年６月から募集開始予定

2. 会場・主催地　「写真俳句」の展示は、星川沿いの空き店舗等を想定

3. 主催者・関係者　図書館、広報広聴課、商業観光課
(1)団体名等　熊谷市立熊谷図書館
(2)代表者名　館長　齊藤　道夫　　ＴＥＬ　048-525-4551

4. 事業内容　本市出身の作家、森村誠一氏が提唱する「写真俳句」を通して、本市の魅力を発信する。森村誠一氏が選句を行い、優秀作品には記念品等を授与し、森村氏ゆかりの星川沿いの空き店舗等に展示を行う。
　また、ホームページに仮称「みんなで楽しむ！くまがや写真俳句館」を開設し、応募作品を掲載する。

5. 目的・理由　本市出身で日本を代表する作家であり、全国的にも有名な森村誠一氏にちなんだ文学的事業を、森村氏の提唱する新たな取りくみ「写真俳句」を通して展開し、全国からチャレンジしていただくことにより文学のまち・熊谷を発信する。

6. 経緯・経過　平成24年１月の市報で、市長との新春対談に協力をいただいた。森村氏との対談の中で、氏が提唱する「写真俳句」のアイデアをいただき、新規事業に発展した。

7. 影響・効果　著名な森村誠一氏が熊谷市の出身であることをアピールできる。また、全国から作品を公募することにより、熊谷市の注目度が向上する。

8. この事業の実施による特記事項　「写真俳句」は森村誠一氏の登録商標ですが、森村誠一氏のご協力により、事業を展開する。

(1)県内の状況
ア.県内で初めて　イ.県内で　　番目　実施市別紙のとおり
(2)他市が実施している事業に比べて本市の特色　文学者の出身自治体が、文学賞を主催する例は多いが、「写真俳句」の例はない。
・他市と同じ

※資料の有無　（　**無**　）

担当課　熊谷市　熊谷図書館　　担当者　油橋将行
連絡先　ＴＥＬ　０４８－５２５－４５５１

（熊谷市）記者クラブ情報

＜速　報＞
平成24年度当初予算（案）概要
平成24年2月15日発表

事業の名称等

地域づくり応援事業

1. 実施日時等　　平成　　年　　月　　日（　　）午前　　時　　分 から

　　平成　　年　　月　　日（　　）午前　　時　　分 まで

2. 会場・主催地

3. 主催者・関係者

(1)団体名等　熊谷市市民部市民活動推進課

(2)代表者名　　ＴＥＬ

4. 事業内容

30の校区連絡会を対象に、地域活動への参加、定着、発展を図るため、団塊の世代（その次世代を含む）から青少年まで、各世代が交流する地域活動の企画実施、及び、よりよい地域とするための地域計画づくりを応援する。

応募し採用された校区連絡会に、1校区あたり10万円（限度額）を支給。

5. 目的・理由　地域の資源である自然や人材などを活用し、多世代が参加する事業を実施することで、現在の課題である地域活動を担う人材の発掘、リーダーの育成、コミュニティの醸成、地域への愛着を深めてもらう。

6. 経緯・経過　前年度まで政策調査課で実施し、校区連絡会を中心とした地域活動の充実と活性化に成果をあげた「熊谷新時代まちづくり事業」(*)を継続し、発展させようとする事業である。

(*)実績～平成22年度13校区、平成23年度15校区で実施

7. 影響・効果　校区の方々が自ら、多世代が参加する事業を企画・実施することで、リーダーの能力が向上する。また、多世代を対象とすることで、子供たちが参加することとなり、それに伴い参加者が増えることが見込まれる。多くの人が参加することで、豊かな地域コミュニティが醸成されるとともに、地域活動への関心を持つ人が多くなり、地域活動を担う人材の発掘が可能となる。

8. この事業の実施による特記事項

ア.県内で初めて　　イ.県内で　　番目　　実施市別紙のとおり

(2)他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※資料の有無　　（　**無**　）

担当課　熊谷市　市民部市民活動推進課　　担当者　栗原恒夫

連絡先　ＴＥＬ　内線329

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等

市民協働「熊谷の力」涼しさ体感事業

１．**実施日時等**　平成　　年　月から平成　　年　月まで

２．**会場・主催地**　ＪＲ熊谷駅・籠原駅構内、市内公共施設等

３．**主催者・関係者**　涼しさ体感事業実行委員会（ＮＰＯ法人エコネットくまがや）

４．**事業内容**

小中学生が蒔いたどんぐり苗木を使い「緑を増やす工夫をしたアート」の展示を行うことで、市内全域へ緑を拡大させ、夏に木陰が多く過ごしやすいまちを目指す。さらに、平成２３年度に「暑さ対策」として実施した階段アート等の展示によって、市街地に涼感演出を与える。

５．**目的・理由**

これまで市民の健康や環境を守るため、各種暑さ対策を推進してきた。その方法の一つとして、市民と協働して取り組むことも重要であり、緑化活動に実績のある「ＮＰＯ法人エコネットくまがや」と協働して実行委員会を結成し、クールスポットの拡大とコミュニティ再生を目指し、真に過ごしやすい熊谷を実現することを目的とする。

６．**経緯・経過**

平成２３年度、視覚・聴覚的効果による「暑さ対策」として、市が主体となり「涼・水・青」をテーマとした作品を公募したアート展示を開催している。

７．**影響・効果**

暑さ対策の手法の一つとして「緑化」を推進していく必然性があり、緑化啓発活動で実績がある市民団体と協働することで、既に団体がボランティアで進めている苗木作りの取り組み等が広がり、市民意識の向上や啓発、地域コミュニティの再構築が図られる。

８．**この事業の実施による特記事項**

文化芸術の取り組みと環境保全活動を融合し、地域特性を生かして「暑さ対策」を実施する事例は、全国的に見ても事例がない。

（１）**県内の状況**

ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）**他市が実施している事業に比べて本市の特色**

※　**資料の有無**（　有　・　無　）

担当課　総合政策部企画課　　**担当者**　主任　小谷　隆幸

連絡先　ＴＥＬ　内線５２８

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等
市民協働「熊谷の力」サポーター・タグ普及事業

１．実施日時等　平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分から
平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分まで

２．会場・主催地　熊谷市内

３．主催者・関係者

（１）団体名等　熊谷市認知症キャラバンメイトの会

（２）代表者名　番　場　俊　子　ＴＥＬ 048-521-2735（今井）

４．事業内容　認知症患者などの介護者が、外出時等に周囲に介護していることについて気づき理解していただくために、「介護中」と表示された「サポーター・タグ」（専用の腕章）を作成し、事業所等に設置し介護者に貸し出すことで介護者に対する支援を図る。

５．目的・理由　認知症患者の介護は外見では分かりにくく、誤解や偏見をもたれがちだが、「サポータ・タグ」を設置し貸し出すことで、要介護者や介護者への支援と、周囲の理解、協力意識の拡大により介護者へさりげない手助けができる地域を目指す。

６．経緯・経過

異性の介護者が、トイレの介助をするときや、下着等購入するときなど、日常の外出時に周囲に誤解を招きやすく外出しづらい環境であった。

７．影響・効果　①介護者の精神的ストレスを軽減　②介護中であることの周囲の配慮が得られる　③介護予防や病気の進行を遅らせる効果　④スーパーや金融機関などの事業所等に設置することで、要介護者・介護者が積極的に外出できる環境整備が図れる。

８．この事業の実施による特記事項

「サポーター・タグ」を設置する事業所職員に対し「認知症サポーター養成講座」を開催、介助への配慮について周知し「サポーター・タグ普及協力事業所認定証」を交付設置する。

（１）県内の状況

ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色

・市民協働事業として、熊谷市認知症キャラバンメイトの会に委託

・設置する事業所に対し「認知症サポーター養成講座」の開催

（参考）：静岡県が全国で初めて「介護マーク」を作成 23 年 4 月から配布

・他市と同じ

※　資料の有無（　有　・　無　）

担当課　長寿いきがい課　　担当者　高齢福祉係　橋本・白根

連絡先　ＴＥＬ 048-524-1111(内線 290・271)

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等
市民協働「熊谷の力」介護者サロンほっとたいむ事業

１．実施日時等　平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分から
平成　年　月　日（　）午前・午後　時　分まで

２．会場・主催地　熊谷市内

３．主催者・関係者

（１）団体名等　特定非営利活動法人 NPO くまがや

（２）代表者名　代表理事　片桐和紀　ＴＥＬ 048-524-8429（小林）

４．事業内容　在宅高齢者の介護者は一人で悩み、ストレスや孤独感を抱えながら、介護をしていることが多い。そこで介護者同士の交流、悩みや孤独感の解消の場として「介護者サロン」の設置及び支援サポーターづくりを進める。

５．目的・理由　介護者の精神的負担軽減を図る介護者サロンを設置し、介護者へのサポート、サポーター養成及び支援を行う。

６．経緯・経過　独立行政法人福祉医療機関の助成事業の一環で（特非）さいたま NPO センターと NPO 熊谷との協働事業として「介護する人を支えたい」をテーマに、立正大学社会福祉学部の協力支援を受け、立正大学を会場として平成 22 年 10 月 20 日より 4 回のセミナーを共催した。

セミナー成果として、参加者より熊谷市域においても「介護する人を支えたい」を実践したいとの声が強く、参加された 10 数名で検討を重ね、NPO くまがやの事業部門と位置付け、「介護者サロン熊谷ほっとたいむ」が平成 23 年 2 月 23 日発足した。

７．影響・効果　介護を必要とする高齢者の増加が予想されることから、在宅介護の必要性が増すと思われる。介護者のサポートは、介護される側以上に必要と思われ、事業ニーズは今後ますます増加すると思われる。

８．この事業の実施による特記事項　現在、既存の介護保険事業や高齢者福祉事業においては、「介護者サロン」にかかる具体的な取り組みが無いことから、新たな視点での自助、互助の仕組みとなっており、熊谷市との「協働事業」として発足した。

（１）県内の状況

ア．県内で初めて　イ．県内で　　番目

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色　なし

・他市と同じ

※　資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　長寿いきがい課　担当者　介護保険係　松崎

連絡先　ＴＥＬ 048-524-1111(内線 217)

（熊谷市）記者クラブ情報

＜速　報＞
平成24年度当初予算（案）概要
平成24年2月15日発表

事業の名称等
市民協働「熊谷の力」子育て応援セミナー事業

1. 実施日時等　　平成　　年　　月　　日（　　）午前　　時　　分 から
　　平成　　年　　月　　日（　　）午前　　時　　分 まで

2. 会場・主催地

3. 主催者・関係者
(1)団体名等　ＮＰＯ法人　子育てネットくまがや(事業運営)
(2)代表者名　代表理事　黒澤　稔枝　　ＴＥＬ　080-1115-5588

4. 事業内容　育児相談室の開設及び孫育て応援セミナー、離乳食等の食育セミナー、お父さんの子育てのための育メンセミナー、絵本の選び方等、各種子育て応援セミナーを開催します。

5. 目的・理由　子育て中の家庭の育児の負担を軽減するとともに、より良い人づくり、地域づくりを図ります。

6. 経緯・経過

7. 影響・効果　転勤族が増えるとともに、核家族化が進む中、一人で子育てをし、育児に悩みを抱える母親の心のケアを行うことができます。また、子育て家庭や地域の子育て力の向上が、図れます。

8. この事業の実施による特記事項　育児相談室の開設やセミナーの開催などは、ＮＰＯ法人子育てネットくまがやが実施、市は、経費の補助や事業のＰＲ等を役割分担します。

(1)県内の状況
ア.県内で初めて　　イ.県内で　　番目　　実施市別紙のとおり

(2)他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※資料の有無　　（　**無**　）

担当課　熊谷市　福祉部こども課　　担当者　黒須恵子
連絡先　ＴＥＬ　０４８－５２４－１１１１内線２９７

＜速　報＞
平成 24 年度当初予算（案）概要
平成 24 年 2 月 15 日発表

（熊谷市）記者クラブ取材情報

事業の名称等

市民協働「熊谷の力」めぬま周遊サイクル事業

１．実施日時等　　平成　　年　月から平成　　年　　月まで

２．会場・主催地　妻沼地区（埼玉県歴史のみち景観モデル地区）及びその周辺

３．主催者・関係者

（１）団体名等　熊谷市　まちづくりプロジェクトめぬまチャンネル

（２）代表者名　須藤晃治　　ＴＥＬ　団体：048-588-5050

４．事業内容

埼玉県から「平成２３年度歴史のみち景観モデル地区」として選定された妻沼地区（妻沼聖天山周辺）を対象にレンタサイクル事業の試験運用を開始する。同時に、妻沼地区及びその周辺に点在する観光資源である、聖天山歓喜院、あじさい寺、グライダー、荻野吟子記念館、利根川サイクリングロード、道の駅などをレンタサイクルで廻るためのマップの作成、自転車利用促進イベントを実施する。

５．目的・理由

移動手段の１つとして自転車利用を提案する。これにより、妻沼地区及びその周辺の観光資源をネットワーク化し、ミニ観光やサイクリングを通じ、まちなかの活性化を図る。

６．経緯・経過

平成２２年ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想。

平成２３年８月　妻沼地区「歴史のみち景観モデル地区」選定

７．影響・効果

妻沼地区のレンタサイクルを広めることによって、熊谷市で進めているエコまちづくりを推進し、「環境共生都市　熊谷」の未来像を描くきっかけとする。

８．この事業の実施による特記事項

サイクルマップの作成や、自転車の乗り方や交通マナーなどの啓発をする「(仮) サイクル安全運転イベント」を検討しており、「イベント」について利根川対岸の群馬県千代田町のＮＰＯ団体を交え行う。

（１）県内の状況

ア．県内で初めて　［イ．県内で２番目］　さいたま市(NPO 法人岩槻まちづくり市民協議会)

（２）他市が実施している事業に比べて本市の特色

観光協会でのレンタサイクルが主になっているものが多いなか、官民協働で行うレンタサイクルである。また、赤岩渡船の活用により、利根川を挟む本市と群馬県千代田町との連携を試みる。

※　資料の有無（［有］・　無　）

担当課　熊谷市都市整備部都市計画課　　担当者　課長　持田　浩一

連絡先　ＴＥＬ　0493-39-4813